

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」 感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	会場	対応	具体的な反映状況・考え方
【意義・めざす姿・性格等について】				
1	当日の懇談会で県から言われた「三重県全体が博物館」というのが、重要なキーワードではないでしょうか。これを前面に出していただければと思います。	四日市	B	県内各地の博物館によるネットワークを構築し、新博物館はその中核的な役割を果たすことで、「三重県全体が博物館」となるような取組を進めていきたいと考えています。 具体的には、基本計画の中で検討していきます。
2	“総合”の名前を新博物館名に入れてもらいたい。	四日市	B	新博物館は、三重の自然と歴史・文化を総合的に捉える総合博物館と位置付けています。施設の名称は、その施設の性格を表すものであり、基本計画の中で、ご意見もふまえ検討していきます。
3	三重の伝承、古いしきたり、方言、祭り等も博物館活動に含めてほしい。	四日市	B	新博物館では、三重の自然と歴史・文化の資産を保全・継承し、活用するものとしています。基本計画の中でご意見もふまえ、博物館活動の内容について具体的に検討していきます。
4	すべての土台は自然の歴史と、自然史の中で誕生した人間との歴史が舞台となるべき。	四日市	B	新博物館は、三重の自然と歴史・文化を総合的に捉える総合博物館と位置付けています。基本計画の中で、ご意見もふまえ、具体的に検討していきます。
5	文化とは、自然をも含めつつ、トータル的なものと思っている。自然にも十分な配慮をお願いしたい。	四日市	B	
6	これからの博物館は、自然環境の保全にもっと重点をおくべきです。どのようにしたら自然を残していけるのかを研究し、それを啓発していくことも必要です。	四日市	B	三重の自然と歴史・文化を総合的に捉える総合博物館として、ご意見の趣旨は新博物館の担うべき役割として大切なものと考えています。そのため、例えば博物館の設備や構造等においても、環境保全の大切さを発信できる施設をめざすことなどを盛り込んだところです。 基本計画の中で、博物館活動の内容についても、ご意見もふまえ、具体的に検討していきます。
7	県民の文化力を高める上で、博物館は、重要な役割を担う。真剣で公平な討議をお願いしたい。	四日市	B	文化力を高め、生かす視点を重視し、三重の文化振興のための重要な拠点として新博物館のあり方を取りまとめたところです。基本計画の中でも、この考え方に立って、具体的に検討していきます。
8	少子化、環境、外国人との共生など現在の問題にも取り組んでもらいたい。大学、企業と協力して研究を行うとともに今ある資料も残しておくこと。	津市	B	新博物館では、その大きな役割として、地域づくりや地域の課題解決に対する幅広い貢献を掲げているところです。また大学等との共同研究についても、調査・研究機能の中で位置付けているところです。 ご意見もふまえ、基本計画の中で具体的に検討していきます。
9	三重の人物の研究を深め、情報発信をしてほしい。教科書や映画に載るには、その前提となる研究や文学が必要。	津市	B	三重の自然と歴史・文化を総合的に捉える総合博物館として、三重の歴史に関わった人物の調査・研究および展示をはじめとする情報発信は重要な要素といえます。 その情報発信のあり方については、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
10	平成14年に「自然系博物館の整備を求める請願」が採択されていることから、自然系について、施設の半分の要員と資料室の完備を求めます。具体的な回答がほしい。	津市	B	今回の新博物館の検討にあたっては、過去3回の整備検討の内容やご意見のような請願採択などのこれまでの経緯、現在の県内の自然と歴史・文化をめぐる状況などをふまえて、文化振興の観点から検討した結果、現県立博物館の資料を継承し、三重の自然と歴史・文化を総合的に捉える総合博物館として整備を進めることとしたものです。 したがって、それらに総合的に取り組むことができる人員の確保と施設構成が必要であると考えています。 具体的には、基本計画の中で検討していきます。
11	県内の自然調査のリーダー的な役割を博物館が努めるのが責務と思う。それができる体制も作ってほしい。	津市	B	三重の自然と歴史・文化を総合的に捉える総合博物館として、三重の自然に関する調査や研究において中核的な役割を担う施設とすることは重要な点と考えています。 具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	会場	対応	具体的な反映状況・考え方
12	博物館は、ミュージアムの比率を高くするのではなく、研究、資料の蓄積、環境の保全、保護などの役割も不可欠である。	津市	B	博物館は展示や行事などだけではなく、資料の収集・保存、調査・研究、自然や歴史・文化の資産の保全などの活動を基盤としてはじめて成り立つものであると考えています。新博物館では、このような基盤となる活動についても、県民の皆さんをはじめさまざまな団体、機関等に参画いただくことにより効果的に推進していきたいと考えています。 具体的には、基本計画の中で検討していきます。
13	総合博物館であっても、中は人文系、自然系と明確に区分けして、専門研究組織であることを示してほしい。	津市	D	新博物館は、三重の自然と歴史・文化を総合的に捉える総合博物館として整備することとしています。 また、博物館の基本的な機能のひとつとして、調査・研究機能をあげ、三重の豊かな自然と歴史・文化の資産を適切に保全・活用するために、幅広い調査・研究を行うとしています。そのために、県内外の他機関との共同研究や、県の関係機関や地域の研究グループ・団体等と連携した調査、研究、記録、保全活動を活性化させることとしていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。
14	県下各地に、その地域の特性を生かした「テーマ博物館」を官民一体となって配置する。その総括指導機関としての「センター博物館」を津地区におく。	伊勢市	D	現在の財政事情などを考えますと、県が新たな「テーマ博物館」を整備していくことは容易ではないと考えられます。そのため、県内各地の博物館によるネットワークを構築し、新博物館はその中核的な役割を果たすこととしていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。
15	「博物館」と聞けば、「古臭い」というイメージであったが、「これが博物館か」と驚く新しいイメージ転換をした新博物館でありたい。インパクトが強く集客力のある魅力一杯の、差別化を図った三重県ならではの博物館建設を逃してはならない。	伊賀市	B	博物館整備の意義のひとつとして、県民一人ひとりが三重の魅力を見出し(三重を知り)、三重への愛着と誇りを育み(三重を学び)、その魅力を内外に発信する(三重を伝える)ことにより、県外からも三重の魅力が評価してもらえるような、三重のアイデンティティを明確にしていくことが大切であるとしています。 ご意見もふまえ、基本計画の中で、博物館の特徴を明確にしていきます。
16	このところ(国・県・私的な)、時代の夢を叶えてきたものを思う存分見て、触れて、そして未来へ進む大切な事に気づくことに博物館の意義がある。何か新しい発見があるそんな場所になっていくと良い。基本的な概念は、見て、遊んで、知って、会って、夢を持つ「見遊知会夢(ミュージアム)」。	伊賀市	B	
17	新博物館は何のために、誰のために作るのかというポイントを踏まえて素案を考え直す必要があると思う。	伊賀市	A	「三重の未来を拓く人づくりの拠点」、「三重を知り、三重を学び、三重を伝えるための拠点」、「三重の豊かな自然と歴史・文化を保全・継承し、活用するための拠点」となることを博物館整備の意義として挙げています。(第1章) また、新博物館の基本的な性格として、「県民とともに成長する開かれた博物館」を最も大切にすることとして位置づけています。(第3章(1))
18	まずはテーマだと思えます。他にない何を三重県としてどういうコンセプトにしているか知りたい。	伊賀市	B	新博物館の基本的な性格として、三重の多様で豊かな自然と歴史・文化を総合的に捉える総合博物館を掲げています。その意味では、分野別の博物館のような特定のテーマ設定を行うことはできませんが、博物館活動の方向性を分かりやすく示すような総括的なテーマについて、基本計画の中で検討していきます。
19	博物館の周囲に人が集まる工夫をしないと注目しづけてもらえないのではないかと。	伊賀市	B	県総合文化センターや美術館が周辺にあり、これらの文化振興拠点との連携がはかりやすい地であることなどの理由から、県総合文化センター隣接地を新博物館の立地場所として特定したところであります。これにより、これらの施設との連携により相乗効果をあげていきたいと考えています。 なお、博物館活動をその立地する場所での点としての活動だけでなく、県内全域に広げる面的な活動を進めることも重視していきたいと考えています。 具体的には基本計画の中で検討していきます。

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	会場	対応	具体的な反映状況・考え方
【次世代育成について】				
20	人間力の視点から見て、次代を担う子どもたちに、博物館のモノや資料のさまざまな活動とは、どのような活動か、明記してほしい。	四日市	B	めざす博物館の姿として、人間力の視点から、学校教育との積極的な連携をはかり、子どもたちが、博物館を見学したり、さまざまな活動に参加・参画したりできる機会を豊富に設け、三重の将来を担う次世代育成をはかることとしていますが、具体的には、基本計画の中で検討していきます。
21	子ども達がよるこぶ博物館をお願いしたい。	津市	A	子どもから高齢者まで、誰もが楽しみながら学ぶことができる博物館、何度でも訪れたいくなる、開かれた博物館をめざすこととしています。(第3章(1))
22	次世代を担う子ども達に発信していくには、何度も繰り返し行ってみたいくなるようなテーマを持った、みえの魅力をアピールしうような内容をもった博物館にすべきだと思います。	伊賀市	A	
23	科学をメインとした構想を理念に掲げ、多様で豊富な三重の自然に目を向け、三重の自然資産を守っていき、三重の将来を担う子どもをターゲットとした「自然史博物館」にすべきである。	伊賀市	D	
【ネットワークについて】				
24	市立等との博物館等との連携、役割分担についての考え方はいかがですか。	四日市	B	新博物館は、県内博物館のネットワークの中核的な役割を果たすため、県内の博物館や関係機関との役割分担の体制を構築していくこととしています。具体的には、基本計画の中で検討していきます。
25	最大の効果を生むための”知恵”は既存の活動体との連携効果を増進することと考えます。	四日市	A	めざす博物館の姿として、三重の自然と歴史・文化に関する活動に取り組む県民のグループやNPO等との団体、関係の諸機関・諸施設、県内博物館とのネットワークを構築し、人や地域の交流を広げていくとしています。こうしたことを通じて、三重の魅力を高め、内外に発信するための新しい知恵や工夫を生みだす三重の創造力を高めていくことを記述しました。(第2章(3))
26	コア、インデックス機能を期待します。	四日市	B	新博物館では、県内博物館のネットワークの中核的な役割を果たすため、県内の博物館や関係機関との役割分担の体制を構築することとしています。資料情報の共有なども含め、県内博物館と協議をしつつ、具体的には、基本計画の中で検討していきます。
27	ハブ博物館について、他県の例を参考に独自の構想を作ることが今後の課題となっていますか。	伊勢市	B	
28	地域に残る貴重な資料の検索や調査がIT等を駆使してできること。	伊賀市	B	
29	ハブ博物館について、各地域の施設を充実させ、本館は、それらをサポートする情報センター的な役割を果たすべきではないか。各地域館には、それぞれ特色あるテーマ設定をする。	伊賀市	B	
【収集・収蔵機能について】				
30	消え行く仏教文化・民俗を県が中心となって、収集・保存・継続出来るようにしていただきたい。	四日市	B	新博物館は、県内博物館のネットワークの中核的な役割を果たすため、資料の収集・収蔵の方針を定めて県内の博物館や関係機関との役割分担の体制を構築し、散逸や消滅の危機にある県内の自然と歴史・文化の資産の記録・保全・および収集・収蔵のための活動を行うこととしています。具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
31	個人の収蔵品の扱いをどうするのか。	四日市	B	
32	建造物がなくなるのは、文化財、文化遺産の破壊(蔵書、収蔵品、民俗用具がなくなる)。	四日市	B	
33	小さな資料館、博物館等の資料・印刷物、紀要などは、県内の分は県立博物館で収集保管していただきたい。	四日市	B	
34	重要文化財指定の古伊賀(焼)はともかくとして、古伊賀(焼)以前のものや、時代の新しいものの中にある価値ある歴史文化資産が散逸してしまうのが、残念です。	伊賀市	B	
35	まちかど博物館など、歴史的な資料を個人で収集されている方も高齢化しており、いづれ散逸してしまうおそれがあるので、そういった資料を受け入れていただけるのか。	伊賀市	B	

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	会場	対応	具体的な反映状況・考え方
36	県内に生息する動植物の標本を可能な限り多数収集保管し、誰もが活用できるような体制を整えるよう努力していただきたい。	四日市	B	新博物館では、現博物館の収集・収蔵資料や調査研究成果を引き継ぐとともに、総合博物館として、三重の豊かな自然と歴史・文化の資産を適切に保全・活用するため、記録・収集・収蔵、幅広い調査・研究を行うこととしています。
37	今ある資料を新しい県立博物館ですぐに利用できるような形で、整理しておく必要がある。	伊勢市	B	具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
38	他の箇所ではふれられているのに、素案の6ページ(4)には、歴史資料のことだけで、三重の自然に係わるモノ資料の収集・保存について一言もふれられていない。	伊賀市	A	ご意見をふまえ、自然に関する資産の保存・活用についても記述しました。(第3章(4))
39	伊勢神楽、安乗文楽など無形民俗資料もぜひ対象に。	四日市	B	具体的な収集・保存計画、事業計画等については、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
40	民俗芸能の映像を収集して、閲覧に供するようにはできないでしょうか。	伊賀市	B	
41	産業としての万古焼ではなく、文化としての万古焼を取り上げてもらいたい。	伊賀市	B	
【調査・研究機能について】				
42	県内の自然史と、現在までの調査研究史が網羅されているべき。	四日市	B	新博物館では、現博物館の収集・収蔵資料や調査研究成果を引き継ぐとともに、総合博物館として、三重の豊かな自然と歴史・文化の資産を適切に保全・活用するため、記録・収集・収蔵、調査・研究を行うこととしています。
43	現在までの標本類及び調査報告書並びに各種文献、報告等の資料が網羅されているべき。	四日市	B	具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
44	数年おきに博物館紀要を出版し、研究内容を県民に発表してほしい。毎年、中間進行状況を展示したりホームページで公表できるところはしてほしい。	津市	B	調査・研究機能は、博物館の基盤となる活動であり、その成果を展示などの活動だけでなく研究紀要などとして広く公開していくことは大切な役割であると考えています。 具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
【展示・情報発信機能について】				
45	本物をみせるセンター博物館。デジタル化、レプリカもいたしかたないが、本物の感動を、驚きを伝えるものにしてほしい。	津市	B	本物には、つくりものにはない迫力や魅力があり、来館者にはできるだけ本物を見ていただきたいと考えています。しかし、資料保存の観点から限界もありますので、資料の保存と活用のバランスに配慮した展示のあり方について、基本計画の中で検討していきます。
46	小学校1～3年生ぐらいの人は、生きているものを見るのが楽しいと思います。展示してあるもののクイズを作っているなどところに設置すると、興味をもってもらえると思います。	津市	B	現在の県立博物館ではオオサンショウウオを飼育していますが、生きているものについては、施設や人員など総合的に考えていく必要がありますので、基本計画の中で検討していきます。 興味をもっていただけるような展示についても、具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
47	三重県と中国の姉妹県である河南省に関して、言及していない。中国の重要文化財級の資料を展示すべき。	伊勢市	B	新博物館では、県内外の国宝・重要文化財などの優れた資料を紹介する展示にも取り組むこととしていますが、基本計画の中で、ご意見もふまえ、具体的に検討していきます。
48	これまでの資料(県立博物館の実践してきた)を生かす工夫を十分考えられたい。	伊賀市	B	新博物館は、50年以上にわたり蓄積されてきた県立博物館の収蔵資料を継承した博物館にすることとしています。それらの資料やこれまでの博物館活動の成果を生かしたものとなるよう、基本計画の中で具体的に検討していきます。
49	100年間楽しめる博物館としてほしい。使えなくなるのは施設面なので、展示内容はどんどん新しくしていく工夫が必要だと思います。	伊賀市	B	新博物館の展示では、固定的でない魅力あふれる展示活動を推進することとしています。これは、いつ行っても変わりのない固定的な常設展示が展示の中心を占める従来型の博物館展示にこだわらず、多様な三重の魅力をさまざまな側面から柔軟に紹介しようというものです。 具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	会場	対応	具体的な反映状況・考え方
【公文書館(機能)について】				
50	博物館の資料室は、人文、考古、自然系標本、研究文献等とし、公文書は、博物館が保管すべきではない。図書館なり県庁書庫にでも保管すべきである。	津市	D	公文書館は展示機能に重点を置く博物館に対し、歴史的資料としての価値がある公文書等を保存・活用するための拠点であり、特に閲覧・レファレンス機能に重点が置かれているところに特色がありますが、歴史資料を対象とすることや、資料の調査・研究、展示、講座などの教育・普及活動を行うなど、博物館と類似性の高い機能を持つ施設といえます。 県では、新博物館と一体整備し、公文書館の持つ閲覧・レファレンス機能を積極的に取り入れることにより、より県民に開かれ、博物館・公文書館といった枠組みにとらわれない新たな「文化と知的探求の拠点」の実現をめざすこととしていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。
【県民参画機能について】				
51	専門学芸員の研究道場として、民間を含めて広く参加でき公開されているべき。	四日市	A	新博物館の機能の一つとして「人材育成機能」を挙げ、県民参画型の博物館活動を通じて、県民が、地域の文化振興の担い手として活躍できるよう支援するとともに、県内博物館等のスタッフ育成・技術支援など、人づくりの取組を積極的に行うこととしています。(第4章(2))
52	設置後の研究、活動、保管等も、官民協議で。	伊勢市	A	県民参画型の博物館として、博物館活動全体において、県民参画を得ながら進め、運営方針の検討や活動の評価にも県民の参画を得て、県民とともに成長する開かれた博物館をめざすこととしています。 また、自然愛好会や郷土研究会などの地域の研究グループ・団体などとも連携し、三重の自然と歴史・文化の保全や調査・研究などの活動を活性化させるとしています。(第4章(2))
53	元気な高齢者の力を利用して、サポートメンバーを運用していく方向も考えてみてください。世代間の交流を図ることによって、文化力が向上すると思います。	伊賀市	B	県民参画型の博物館として、サポートスタッフを含め、博物館活動全体において、県民参画を得ながら進め、運営方針の検討や活動の評価にも県民の参画を得て、県民とともに成長する開かれた博物館をめざすこととしています。(第4章(2)) 具体的にはご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
54	具体的な構想を検討する段階で、一般県民や各サークルの代表を交えたメンバーで考えていくようにしてほしい。	伊賀市	A	今後の検討体制として、博物館整備の検討への県民の参画の推進についても明確に記述しました。(第7章(4))
55	レッドデータブックで示された種の保存について、博物館を中心とした活動が必要であるが、未解明の部分があると思われますので県内で活動しているサークルと共同して探索していく必要がある。	伊賀市	B	新博物館は、三重の自然と歴史・文化に関する活動に取り組む県民のグループやNPO等の団体、関係の諸機関・諸施設との連携や県内博物館ネットワークの構築により、三重の自然と歴史・文化の資産およびその情報を保全・継承・活用するための中核的な拠点として機能することをめざしています。 具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
56	広く、県内のサークル育成のために野外活動について、重点をおいてほしい。伊賀市には森林公園があるが、この活動をより活発にして住民が多く参加していけるようにしてほしい。	伊賀市	B	新博物館の機能の一つとして「地域活動機能」を挙げ、館内のみならず県内全域をフィールドとしていくこととしています。具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
57	展示と運営は人材である。「生誕360年芭蕉さんがゆく秘蔵のくに伊賀の蔵びらき」の時のように人材を掘り起こし、無償で仕事をしてもらえる人間を育成することを望みます。	伊賀市	A	新博物館の機能の一つとして「人材育成機能」を挙げ、県民参画型の博物館活動を通じて、県民が、地域の文化振興の担い手として活躍できるよう支援していくこととしています。(第4章(2))
【学習支援機能について】				
58	新博物館の素案の中に遠足・社会見学が取り入れられていますが、伊賀からの見学をしやすくなるシステム作りを検討してほしい。	伊賀市	B	教育委員会や学校の先生方と検討を進め、学習課程に対応した活用プログラム(展示見学プラン、体験メニューなど)や学校向けの教材の開発などに取り組むこととしています。 具体的には基本計画の中で検討していきます。

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」 感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	会場	対応	具体的な反映状況・考え方
【新博物館の施設について】				
59	新博物館の施設自体の寿命をどの程度に考えているのか。収蔵機能の面からも検討課題と思われるが。	四日市	B	新博物館では、三重の自然や歴史・文化の資産を100年、200年先に引き継ぐための活動を進めることや、収蔵資料を安全かつ確実に保存できる堅固で十分な広さの収蔵庫を確保するものとしています。建物の仕様については、ご意見もふまえ、基本計画の中で具体的に検討していきます。
60	ハコモノが造れないなら、県の各機関を集約して、空いたスペース(旧県民局・現県民センター)を利用して、分室をつくることを検討しては如何でしょうか。	伊賀市	D	現在、新博物館の整備に向けて鋭意検討を進めているところであり、ハコモノが建設できない場合の具体的な対策の検討を行うことは想定していませんので、ご理解をいただきますようお願いいたします。
61	博物館をつくり直す話は、何十年来のものですが、なかなか実現しません。建設を急いでください。	伊賀市	E	基本構想で示した基本的な考え方に基づき、平成20年度に基本計画を策定します。その中で、着工の時期や開館の時期についてもお示ししたいと考えています。
【立地場所について】				
62	魅力ある博物館づくりのためには、施設の周囲に名所旧跡があることが望ましい。また、博物館、美術館、図書館などの周りにウォーキングコースを作ると、人もたくさんくる。	四日市	B	県総合文化センターや美術館が周辺にあり、これらの文化振興拠点との連携がはかりやすい地であることなどの理由から、県総合文化センター隣接地を新博物館の立地場所として特定したところです。基本計画の中で、施設面だけでなく、周辺にある自然や歴史・文化の資産などとも連携した取組についても検討していきます。
63	交通アクセスの良い場所に建設してほしい。そうでなければ、無料のコミュニティバスを走らせて少子高齢化や地球環境に配慮してほしい。	四日市	A	県中央部にあたり、近鉄・JR津駅からバスで5分、徒歩25分とアクセスの面で優れていることを理由の一つとして、県総合文化センター隣接地を新博物館の立地場所として特定したところです。(第5章(3))
64	南北格差を埋めるためにも、県中央での立地は避けるべき。集中しすぎる。	伊勢市	D	県総合文化センターや美術館が周辺にあり、これらの文化振興拠点との連携がはかりやすい地であることなどの理由から、県総合文化センター隣接地を新博物館の立地場所として特定したところです。
65	県の施設は、県土のバランスを考慮して、伊賀に立地してはどうか。	伊賀市	D	なお、博物館活動を立地場所での点としての活動だけでなく、県内博物館のネットワーク構築の推進をはじめ、県内全域に広げる面的な活動を進める地域活動機能を重要な機能の一つとして位置づけていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。
66	県文化施設の大半が津市に集中しているため、伊賀に博物館を建設してほしい。無理で有れば、公文書保存施設を博物館の分館として伊賀につくり、移動展示にも利用できるようにしてもらいたい。	伊賀市	D	県総合文化センターや美術館が周辺にあり、これらの文化振興拠点との連携がはかりやすい地であることなどの理由から、県総合文化センター隣接地を新博物館の立地場所として特定したところです。また、公文書保存施設を分館として伊賀にというご意見につきましては、財政事情の面および県庁に近接していることが望ましいとの考えから実現は困難と考えます。 なお、県内博物館のネットワーク構築の推進をはじめ、館内のみならず県内全域をフィールドとして活動を点から面へと広げていく「地域活動機能」を重要な機能の一つとして位置づけていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。
67	伊賀に博物館を建設されたい。(最低 分館規模でほしい)	伊賀市	D	県総合文化センターや美術館が周辺にあり、これらの文化振興拠点との連携がはかりやすい地であることなどの理由から、県総合文化センター隣接地を新博物館の立地場所として特定したところです。また、分館および臨海実験場につきましては、現在の財政事情から実現は困難と考えます。
68	伊賀に分館、志摩方面に臨海実験場の設置を要望します。	伊賀市	D	なお、県内博物館のネットワーク構築の推進をはじめ、館内のみならず県内全域をフィールドとして活動を点から面へと広げていく「地域活動機能」を重要な機能の一つとして位置づけていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。
69	過去の伊賀地域からの運動(S60年設置要望、H9年伊賀分館要望)今や何ら受け止められていない。	伊賀市	D	今回の新博物館の整備にあたっては、過去3回の整備検討の内容やこれまでの経緯、現在の県内の自然と歴史・文化をめぐる状況などをふまえて、文化振興の観点から検討し、県総合文化センター隣接地を博物館の立地場所として特定したところです。 財政的な事情から分館の整備は困難と考えますが、県内博物館のネットワーク構築の推進をはじめ、館内のみならず県内全域をフィールドとして活動を点から面へと広げていく「地域活動機能」を重要な機能の一つとして位置づけていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	会場	対応	具体的な反映状況・考え方
【館長・学芸員について】				
70	自然科学部門として、三重県が取り上げている環境問題を第一に考慮し実施しなければならない問題だと思うが、これらの基礎調査が何らされていない。学芸員は、特別の事業がない限り、地域の自然科学調査研究に取組み、標本資料の集積と管理、調査資料の文献の維持管理にあたり、三重県の自然科学の資料は、県の博物館ですべて分かるような施設にするべき。学芸員は、一生この仕事にあたり、3年や5年で異動するような研究の場ではない。	四日市	B	学芸員については、専門的な能力だけでなく、県民参画型の博物館を運営し、県内の博物館や他の文化振興拠点の人材育成・技術支援ができる能力、また連携のために必要なコーディネート能力も併せもった人材を計画的に確保・育成していくこととしています。 具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
71	すぐれた学芸員が熱意を持って、伝えたい心、つなぎたい心を発揮できるようシステムと人員配置を工夫されたい。	伊賀市	B	
72	総合博物館を実現させるためには、学芸員の定員をできるだけ多くして、自然と人文系の人数を半々にしていただきたい。	四日市	B	新博物館は、三重の自然と歴史・文化を総合的に捉える総合博物館として整備を進めるとしたところで、したがって、それらに総合的に取り組むことができる人員を確保していく必要があると考えています。
73	「館長が替われば館も変わる」といわれないためにも、学芸員を育てる実行力のある館長、豊かな発想力を持つ館長としてもらいたい。	伊賀市	B	館長については、リーダーシップが発揮でき、総合的に博物館活動をマネジメントできる人材を配置するとしています。ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
74	県民とともにいうことをテーマにするならば、研究を独自にしている民間の人に注目して、学芸員として、もしくは資料提供者として県民有志を集めてください。	伊賀市	B	新博物館は、三重の自然と歴史・文化に関する活動に取り組む県民のグループやNPO等の団体、関係の諸機関・諸施設との連携や県内博物館ネットワークの構築により、三重の自然と歴史・文化の資産およびその情報を保全・継承・活用するための中核的な拠点として機能することをめざしています。 具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
【管理・運営について】				
75	今後の運営に県民の力(NPO、ボランティア等)を活用できる仕組みを作ってほしい。	四日市	A	新博物館の組織として、県民・専門研究者・行政担当者などが加わった運営協議会を設置し、博物館活動を県民とともに進めることができるしくみについて検討するとしています。(第6章(1))
【建設費・事業費・運営費について】				
76	博物館が「持ち出し」であることは自明です。問題は、どれだけ持ち出すのかについての明確な方針と合意である。	四日市	B	基本計画で、具体的な建設計画・施設運営計画・事業計画等が明確になり、事業費・運営費の概算についてもお示しすることとしています。その検討段階から、シンポジウム・意見交換会等の開催、広報等に努め、県民の皆さんのご理解を得ていきたいと考えています。
77	予算の内容(9月の補正予算)について知りたい。	津市	E	平成19年度は、文化芸術分野にとどまらない幅広い生涯学習分野なども含めた新たな文化振興の基本的なあり方を検討し、その中で中核的な拠点となる博物館のあり方についても検討しました。そのための事業費4,805千円を、6月議会において補正予算として計上しました。その内訳は、検討のための文化審議会の開催費用や県民意見交換会の開催費用、先進地視察にかかる費用、検討結果報告書の印刷費用などです。なお、9月議会では補正予算案は計上していません。
78	次年度以降の予算編成上のスケジュール(設計費 年度、土地買収費 年度) (おおよその見込みでよい。県の姿勢がどこまで本腰なのかを知りたい)	津市	B	平成20年度は基本計画の策定やPFI導入可能性調査、整備過程での県民参画の取組(シンポジウム・意見交換会の開催や広報等)のための予算として44,996千円を計上しています。 基本計画策定後、基本設計・実施設計、用地買収、造成、工事と開館まではさらに数年がかかると思われますが、概算事業費やスケジュールについては基本計画の中で明らかにしていきます。
79	三重県発祥の企業に、寄付金を募ってほしい。	伊勢市	B	民間活力の活用をはじめ、資金調達のあり方については、ご意見もふまえ、基本計画やPFI導入可能性調査の中で検討していきます。
80	設置総予算額は、どの程度か	伊勢市	B	設置のための概算事業費については、基本計画の中で検討し、明らかにしていきます。
81	質と量の両面から、学芸員を確保しなければならないが、これに係る費用も膨大になることを認識しておくべき。また、人件費以外のランニングコストもかかる。	伊勢市	B	運営費の概算については、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討し、明らかにしていきます。

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	会場	対応	具体的な反映状況・考え方
【現博物館について】				
82	何らかの形で再開してください。	津市	C	現博物館の収蔵資料・活動等は新博物館に引き継がれることとなりますが、開館までには時間がかかることから、継続して博物館活動を行うため、平成20年度については、移動展示や博物館教室などに取り組んでいきます。平成21年度以降については、基本計画と並行して検討していきます。
83	古い現博物館も、倉庫で使うとか、リフォームするなど大切に、有効利用をしてください。	伊賀市	C	現博物館施設の活用については、ご意見もふまえ、今後検討していきます。
【文学・文学館について】				
84	文学館機能の充実を、受け皿が十分でないので散佚していくのを、指をくわえてみているのはつらい。	伊賀市	B	新博物館は、県内博物館のネットワークの中核として、資料の収集・収蔵の方針を定めて県内の博物館や関係機関との役割分担の体制を構築し、散逸や消滅の危機にある県内の自然と歴史・文化の資産の記録・保全・および収集・収蔵のための活動を行うとしています。 具体的には、ご意見もふまえ、基本計画の中で検討していきます。
【文化審議会委員について】				
85	素案の策定にあたって、有識者や専門的知識人の先生方は、どのように子どもたちの意見や要望を反映させたのか、是非お聞きしたい。	四日市	E	文化審議会では、小学校の校長、元県教育委員長、NPO子どもサポートセンター理事長などの委員を中心に、子どもと博物館との関わりについてもしっかりとご審議いただきました。また、県民懇談会においては、中学生の参加も得ることができました。 今後の博物館整備の検討では県民参画の推進に取り組んでいくこととしていますが、その中で、子どもたちに対する広報広聴等についても検討していきます。
86	(質問) 審議会委員のメンバー数と各専門分野の種類と、その分野別専門委員数は。	伊賀市	E	今回の博物館のあり方については、新しい文化振興の基本的な考え方のもと検討を行うため、文化審議会に部会を設け、文化審議会委員15名と、専門委員5名をメンバーとしています。文化振興の基本的な考え方を文化芸術分野にとどまらない、さまざまな見地から検討していただけるよう、審議会委員の専門分野は、都市政策・施設設計、教育・生涯学習、文化政策、企業メセナ、食文化などの分野から選任し、博物館の活動や運営に詳しい専門委員として、博物館学の専門家、経済界、県内博物館の館長等を選任しています。 なお、委員構成についてはホームページにも掲載していますので、詳細についてはそちらをご覧ください。
87	審議委員のみなさんには自然科学についての識者がおられないので、この組織から改めて選定しなおさなければ、自然科学を併せた総合博物館の建設は、ありえない。	四日市	C	ご意見もふまえ、基本計画の検討部会においては、自然系や人文系の専門家をはじめ、公文書館や博物館経営、建築学等多方面の専門家をバランスよく選定し、より専門的な見地から具体的に検討していきます。
88	博物館は研究専門部門であるのに、審議会委員に自然系だけ専門家を除外しているのは遺憾である。早急に、数名入れるべきである。	津市	C	
【全般】				
89	女性の視点が欠けているのではないかと。(具体的な課題を指摘できないが)懇談会出席者を見ても女性が少ない。	四日市	C	男女共同参画の考え方に基づき、文化審議会委員15名(専門委員を除く)のうち6名は女性の委員を選任しています。今後の検討についても、幅広い視点で進めていきます。
90	県民の声を直に聞く姿勢が県民を動かすものになると思います。	四日市	E	今後も、県民懇談会などの機会を設け、ご意見を新博物館整備の検討に生かしていきたいと考えています。
91	全体の構想は大賛成です。	四日市	E	
92	前回の意見交換会に比べて内容が充実し、説明も含めて、まとまった懇談会だったと思いました。	津市	E	
93	非常に立派な、熱心な意見に感服しました。次回、意見交換会があれば、お知らせください。	伊賀市	E	
94	県民懇談会が単に県民の意見を聴取したという実績(アリバイ工作)づくりとしてだけにつかわれることのないように。	伊賀市	E	

「新しい県立博物館についての県民懇談会に参加して」感想・意見・質問等

(別途ペーパー等により提出された分)

番号	項目・内容	会場	対応	具体的な反映状況・考え方
95	現在も含めて、全県的(市町も含めて)に月曜日休日をやめてもらいたい。折角、他県から来た人が見学できないではつまらない。	四日市	C	県立施設の休館日の扱いについては、今後の運営上の課題としていきたいと考えます。なお、県立以外の施設については、その施設独自の運営に関わることであり、県が直接決めることはできませんが、今後、県内博物館のネットワークづくりの中などでご意見の趣旨を伝えていきます。
96	検討材料の資料(関連法規や博物館法、その他)が少なすぎる。	四日市	E	ご意見をふまえ、今後、県民懇談会等を開催する際には、より充実した内容となるよう努めていきます。
97	自然・・・環境＝「景観」 建造物が入る。	四日市	E	ご意見の趣旨を今後の参考とさせていただきます。
98	起案責任、結果責任を明確にする。税金が垂れ流しになった時に誰が責任をとるのか。	四日市	E	ご意見の趣旨を今後の参考とさせていただきます。
99	議会への根回しはやっているのか。	津市	E	議会に対しては、随時検討状況を説明するなど、情報を共有しているところです。
100	新しい博物館は、山梨県立博物館と大阪市自然史博物館を合わせた素晴らしい博物館を希望します。二つの施設だけでなく、そこにいる研究者も参考にしてほしい。	津市	E	ご意見にある二館も含め、他県の先進的な博物館の調査を行っているところですが、今後も引き続き調査を行い、参考にしていきます。
101	三重県の博物館の現状と他県の博物館を見学(博物館の裏側見学)をするツアーを企画されれば、参加したい。	津市	C	県民参画の博物館活動の一つのアイデアとして、参考にしていきます。
102	ソフト面とハード面に分けて議論すべきというご意見は、今後の博物館のあり方を考えていく上での基本的な姿勢になると思う。	伊勢市	B	ご意見をふまえ、ソフト面からみた機能の整備、ハード面からみた施設の整備、それぞれの充実をめざし、基本計画の中で整理し、検討していきます。